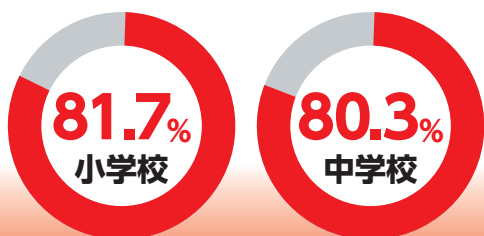


授業改善で学力向上を！ 全国学力・学習状況調査からのメッセージ

(数値は全て千葉県の結果)

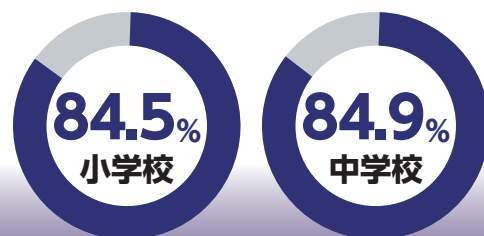
児童生徒質問

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



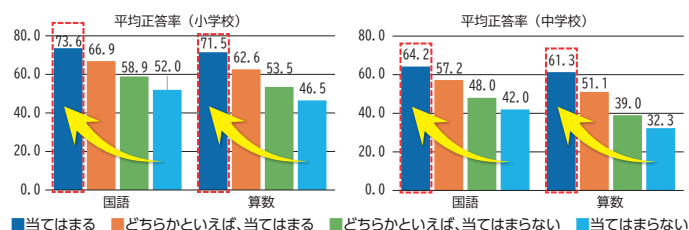
学校質問

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

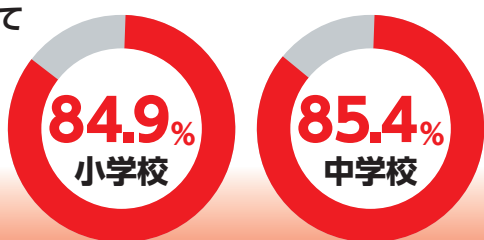


【主体的・対話的で深い学び】 ×【各教科の正答率】

「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した学校の児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。

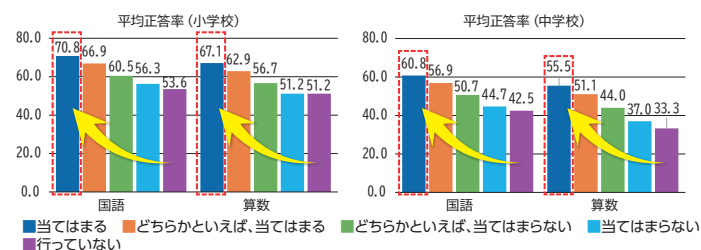


学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



【主体的・対話的で深い学び】 ×【各教科の正答率】

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



主 対 深 体的・話的で い学び

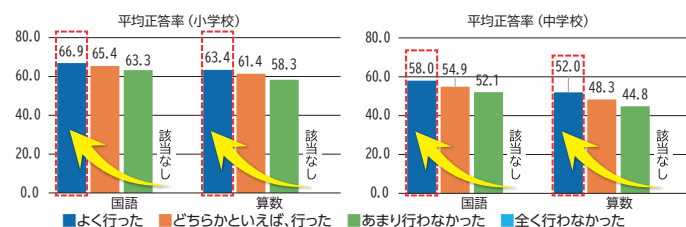
の視点からの授業改善

学習指導において、児童（生徒）が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



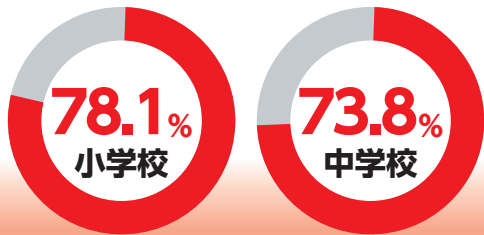
【主体的・対話的で深い学び／個別最適な学び・協働的な学び】×【各教科の正答率】

「他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫している」と回答した学校の児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



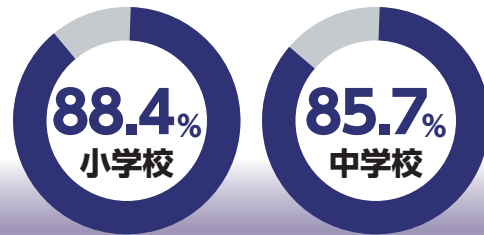
児童生徒質問

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



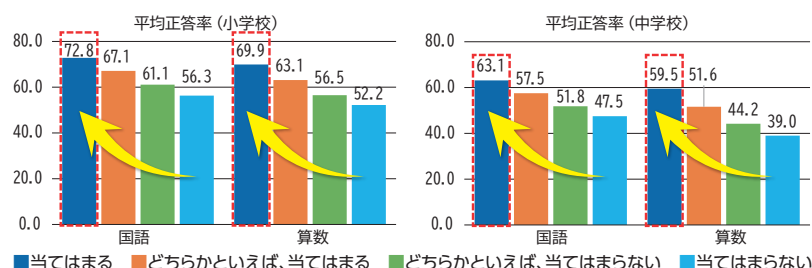
学校質問

授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

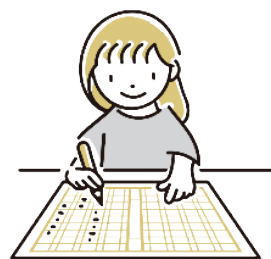


【学びを生かして、まとめる活動】 ×【各教科の正答率】

「自分の考えをまとめる活動を行っている」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



記述力は 千葉県の課題



自分の言葉で学習のまとめを書く

- 子供たちも「その時間のめあて(課題等)」を意識
- 学習課題に対する考察としてのまとめ
- 根拠を明確に(継続的な指導と評価が必要)

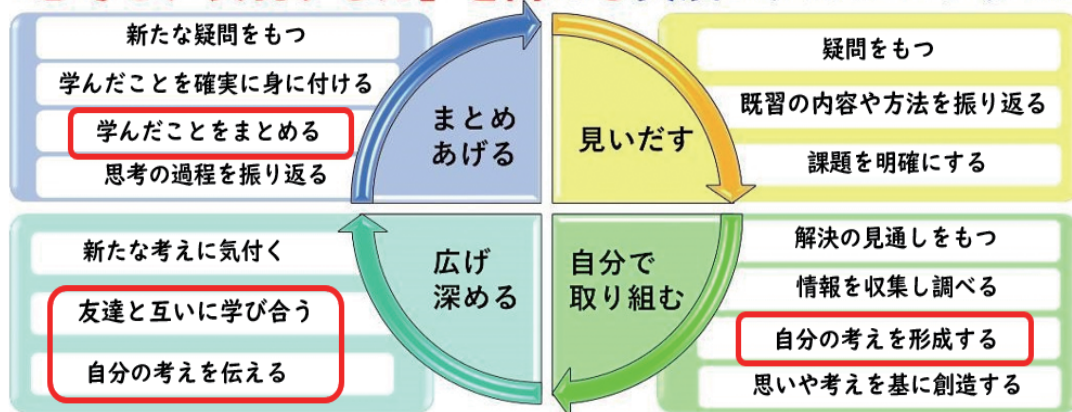
書くことが苦手な
児童生徒への支援

- 教師モデルの提示
- ICT機器(1人1台端末)を活用し、他者の考えを共有・参考等

「ICTの活用」については(次ページ)

実践モデルプログラムを意識した授業

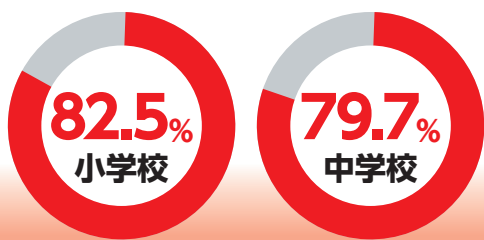
「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



アウトプットすることで、学んだことをまとめる ▶ 「自分の言葉で学習のまとめを書く」「発表の工夫」等

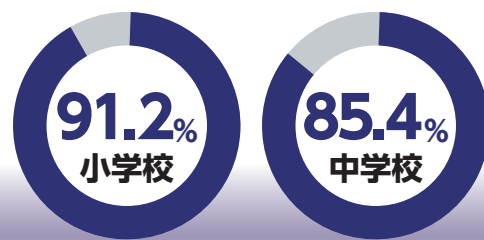
児童生徒質問

授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか



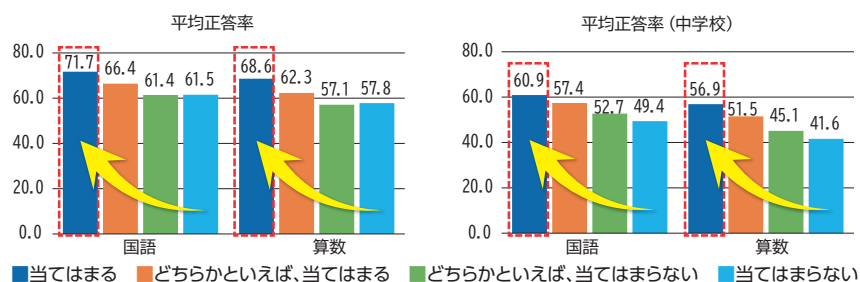
学校質問

学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか



【個別最適な学び】×【各教科の正答率】

「自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



個に応じた学習活動の設定 及び学びを深める学習活動の設定

児童生徒一人一人が、補充的又は発展的な学習に取り組む学習活動を設定する。また、学び合ったことを基に、個別で学びを深める学習活動を設定する。

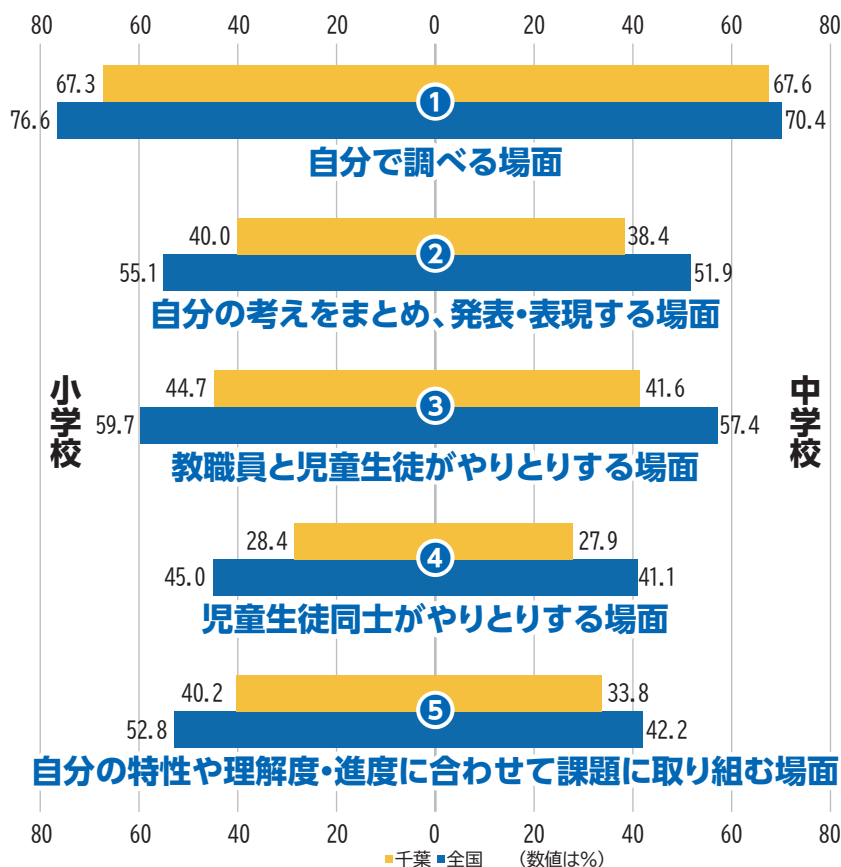
ICT 児童生徒一人一人が、各自で進めることができるドリル教材を用いたり、インターネットで調べたりして学習を行う。

個に応じた教材の提供

児童生徒が自ら選択して学習を進めることができるように、児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じた教材を提供する。

ICT 学習者用デジタル教科書、学習動画、MEX CBT等、多様な教材を提供する。

ICTの活用状況



協働制作する学習活動の設定

児童生徒一人一人が、自分のペースを大事にしながら、他者と共に作成・編集等を行い協働制作する学習活動を設定する。

ICT

写真や動画等を用いた資料・作品を、グループで分担したり、協働で作業したりする。

共有する場面の設定

児童生徒一人一人の意見や考え等をグループや全体で共有する場面を設定する。

ICT

チャット機能等を用いて、児童生徒一人一人の考えを共有する。

学校外とつながる学習活動の設定

ほかの学校・地域や海外と交流する学習活動や、遠隔地の専門家とつなぎ、学びを深める学習活動を設定する。

ICT

Web会議システム等を用いて、学校外とつなげる。

児童生徒の協働的な学びにおけるICT活用

(独立行政法人教職員支援機構)

本動画では、「学校におけるICTを活用した学習場面」の協働学習に焦点をあてて解説されています。





資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫するには

音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合などに資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定することが大切である。

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていない

② はじめまして。
深緑小学校の村木です。

③ ともなは、
浅海小学校の田中
です。よろしく
お願いします。

④ いろいろありがとうございます。図書委員の
メールも読んでみました。でも、まだ、
浅海小学校の図書委員の役目にも慣れていないので、
読書イベントが、月に1回、図書委員が、クイズと
して、私も手伝って、今度読んでくださ
い分野の読書会をしました。

⑤ せいかで載せてもらったのです。それが
何をしているかが分かるようになったので、
もう一度読んでもらえませんか。

⑥ 図書がよくなりましたね。読み方を変えました。
読書イベントが、月に1回、クイズと読書会と
してします。私もクイズに参加しました。今度で
読んでください分野の読書会をしました。

⑦ ようかいしました。おもしろそうですね。

⑧ そうなんです。来月の読書イベントでは、
図書委員がクイズと分野から本を選び、
本の内容がクイズを添えてくれています。
これだ、実際に読んできたクイズが面白いので、
私も参加すること。来月の本交換会を
もつてみました。

二 和田さんは和田さんのメモを生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次

【オンライン交流の様子の一節】をよみ読んで、あどの(1)と(2)の間に答えましょう。

【オンライン交流の様子の一節】

指導の工夫

文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、客観的な事実を取り上げることで考えをより深めていくことができるようにすることが大切である。

文章全体に一貫性があるかを確かめたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いていないかを確かめたりする場面を設定することも大切である。

令和6年度 大問2

【高山さんの文庫】

(集計)

○「たてわり遊び」のよさを十分に考えてきたこと、
○「高山さん」の取材メモの下書きに当たったことを書くこと。
○六十歳以上、百歳以内にならなくて済むこと。

みんな仲良く たてわりはん

わたしたちの学校には、1年生から8年生までのメンバーが、同じように活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、みんなの学年の人とも仲良くになります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3学期ごとに行います。上級生の下級生に伝えんぼう仕事を教えます。下級生も色をわけてもらって、一歩ずつ自分の作戦を考えたりします。「みんなできで遊べることに喜びたい」という2年生が、「下級生といっしょに伝えんぼうに興味持てるに喜びたい」という5年生がいます。このように、「運動会」というところは、みんなの心がつくるところだと思えます。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ時間です。みんなが楽しめるようにして、各年番が、遊びたいことを下級生に教えたり、ルールを守りながら遊んだりしています。例えば、ボールゲームは、上級生は遠くからボールを投げようとしています。

【高山さんの取材メモ】

たてわり遊び について

6年がきゆうひょうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをきゆうする
- ソフトボール、上級生は遠くからボールを投げる

下級生に関心したこと

- 1年生 おさんとお姉さんどと遊べない楽しかった
- 2年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 3年生 みんなが楽しそうにうれしかった

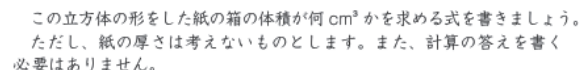
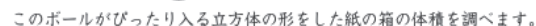
計算に関して成り立つ性質を活用して、
計算を工夫できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

トラック2台で運ぶことができる重さが700kgであることを基に、トラック16台で運ぶことができる重さの求め方を考え、説明する活動が考えられる。

その際、かける数を8倍にすると積も8倍になるという計算に関して成り立つ性質を活用していることを、図や式を用いて場面と関連付けて理解できるようにすることが大切である。さらに、答えの求め方について、筋道を立てて説明できるようにすることも大切である。

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。

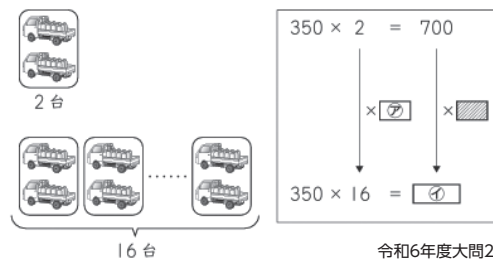


令和6年度大問3

$350 \times 2 = 700$ であることをもとに、 350×16 の積の求め方についてまとめました。
 このとき、 350×16 のかける数「16」が、 350×2 のかける数「2」の何倍になっているかに着目しました。

⑦に着目すると、 350×16 の積⑧は、どのように求めることができますか。

⑦に入る数に着目したときの①の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、⑦に入る数をどのように求めたのかがわかるようにしましょう。また、①に入る数も書きましょう。



令和6年度大問2

図形を構成する要素を見だし、それらを活用して
体積を求めることができるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べる活動が考えられる。その際、立方体を真上や真横から観察するなどして、球はどこから見ても同じ円であることや、その円の直径の長さは球の直径の長さと同じ、立方体の一辺の長さと等しいことを理解できるようにすることが大切である。

各教科の課題が見られた設問から 手がかりをつかもう

調査問題はこちらから確認しましょう
<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>



中学校・国語

(正答例)
 山岡さんの発言にあった、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用してみたいと思います。自分とは異なる価値観を意識して触れ、多様な意見に触れにくい状態に陥らないようにすることが大切だと思いました。

四 「話し合いの一部」の山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2に基づいて文章を直したいときは、二本線で消したり行間書きを加えたりしてもかまいません。条件1 フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからのように本を選びたいかを具体的に書くこと。
 条件2 「話し合いの一部」の誰の発言と結び付けてのかが分かるように書くこと。

(図) フィルターバブル現象
 自分好みの情報だけを調べ、多様な意見から距離を置くようになる現象。
 (文) 山岡さん「インターネットで検索したり閲覧したりした情報が、使用した通信機器などに記憶され、優先されることで、その利用者の好み情報優先的に表示されるようになる。一方で、好きなと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなる状態のことを「フィルターバブル現象」という。例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。」
 (解説) インターネットが検索したり閲覧したりした情報が、使用した通信機器などに記憶され、優先されることで、その利用者の好み情報優先的に表示されるようになる。一方で、好きなと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなる状態のことを「フィルターバブル現象」という。例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。
 (質問) 山岡さん「皆さんは、『フィルターバブル現象の賛否』にあるような経験がありますか。」
 山岡さん「私は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、趣味にしているジャンルに関する本の表示が多くなっているように感じました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。」
 (解説) 山岡さんの例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、読書を「フィルターバブル現象と本の選び方」について話し合ってみませんか。
 山岡さん「身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。」

話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて自分の考えをまとめるには

指導の工夫

話し合いにおけるいずれの段階においても、話題を意識しながらその経過を捉えて話したり聞いたりすることができるように指導することが大切である。また、話し合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるように指導することも大切である。

文章と図表などを結び付けて 内容の理解に生かすには

指導の工夫

パンフレットや雑誌の記事、ウェブサイトに表示されている文章など、実生活の中にあるものを教材として取り上げ、文脈を踏まえた上で図表などがもつ役割について考える学習活動が考えられる。その際、図表などが文章中にある場合とない場合とを比較し、図表などが示されていることによって何ができるのかを説明し合うことで、筆者が図表などを用いた意図を考えるように指導することが有効である。

令和6年度大問1

園池公数
 『植物の形には意味がある』
 一 「図」さまざまな形の葉の本文でその役割を説明したもので、適切なものを、次の1から4までの中から二つ選びなさい。
 1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。
 2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。
 3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。
 4 葉の形を表す言葉の中には、厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割。
 図 ききょうの葉の形

令和6年度大問2

中学校・数学

2 等式 $6x + 2y = 1$ を、 y について解きなさい。

等式の性質などに基づき、等式を変形できるようにするには

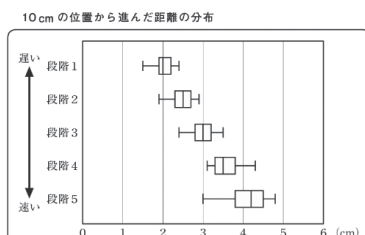
本設問を用いた指導の工夫

$6x + 2y = 1$ を y について解くことは、 $y = \square$ の形に変形することであると確認する場面を設定することが考えられる。その上で、左辺の $6x$ を右辺に移項することや y の係数である 2 で両辺を割ることが、等式の性質を根拠にしていることを確認することが大切である。その際、 $-3x + 1$ と解答しているものを取り上げ、 $2y = -6x + 1$ を $y = \square$ の形に変形するときには、 $-6x \div 2 + 1 \div 2$ と計算する必要があることを確認する場面を設定することも考えられる。

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするには

日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データの分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し判断するという一連の活動を充実させる。

(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10 cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べてみました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10 cm の位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。



前ページの10 cm の位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10 cm の位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

令和6年度大問7

詳しく知りたい、他にも知りたい場合はこちら



全国学力・学習状況調査活用の手引き(総せ)



授業実践アイデア例(千葉県)

全国学力・学習状況調査から 見えた 課題への改善の方策

県内の学校から



【授業改善】

定期的な教科会議を通して、協働的な学びの具体的場面設定について計画、実行し、評価、改善を図るPDCAサイクルを確立する。
(印西市立印旛中学校)

授業の進め方や学習規律に関する教師の振り返りを毎月実施する。
(浦安市立浦安小学校)



算数の学習を日常生活でも活用できるようにするために、問題の素材や提示の場面・方法等を、児童の身近なものにしたり、どのような場面で使えるかを考えたりさせる。
(松戸市立上本郷第二小学校)

【「書く」力を高める指導方法の改善】

朝の会の1分間スピーチで、条件を付けて
時間内に話をさせたり、連絡帳に日記を
書かせたりする活動を継続的に行う。
(長生村立一松小学校)

国語や社会科、総合的な学習の時間など、教科等横断的に様々な
資料に触れる機会を設定する。
(松戸市立上本郷第二小学校)

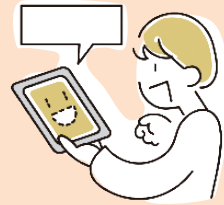
【基礎基本の定着について】

タブレットを使用したドリルタイムの
実施と結果のデータ化による弱点の
克服を図る。
(九十九里町立九十九里中学校)

授業の始めや終わりにミニテストの
時間を設け、基礎・基本事項の習熟を
図る。
(佐倉市立寺崎小学校)

【ICTの活用】

ICT活用について、県学習指導課から発行されている「GIGAスクール通信」等を全職員で共有し、研鑽を積む。
(館山市立北条小学校)



GIGAスクール通信

ICT情報化推進リーダーを中心に、授業で使える効果的なタブレット活用法を伝えるミニ講座などを実施していく。(木更津市立畑沢小学校)



ICTを活用した「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム活用事例集

【家庭との連携】

家庭学習の内容や進め方のポイントを、学校と家庭とで共有する。
(印西市立印旛中学校)

家庭学習の習慣化及び時間を伸ばすために教師の指導に加え、専門委員会等を通じて生徒主体の取組も並行して行う。
(一宮町立一宮中学校)



家庭学習のすすめ

【小中連携】



小学校と連携を図り、情報交換を定期的に行うことで生徒理解に努め、学びの継続性を大切にする。
(長南町立長南中学校)

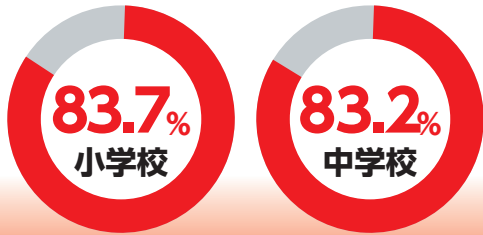
全国学力・学習状況調査の質問調査では、右記の内容について聞かれています。
自校の実態を把握することで授業改善・学習環境の改善につながります。

1. 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組
 - ①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - ②個別最適な学び・協働的な学び
 - ③カリキュラム・マネジメント
2. ICTを活用した学習状況等
3. 学習に対する興味・関心や授業の理解度
4. 教科の指導方法や授業について
5. 児童生徒の挑戦心・自己有用感・幸福感等に関する状況
6. 学校外での過ごし方(勉強時間、テレビゲーム等の時間)

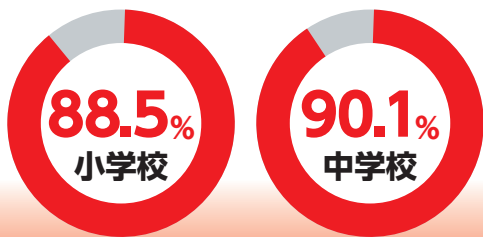
自己有用感

児童生徒質問

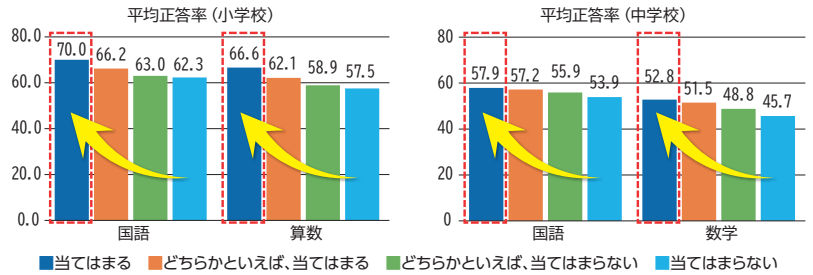
自分には、よいところがあると思いますか



先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

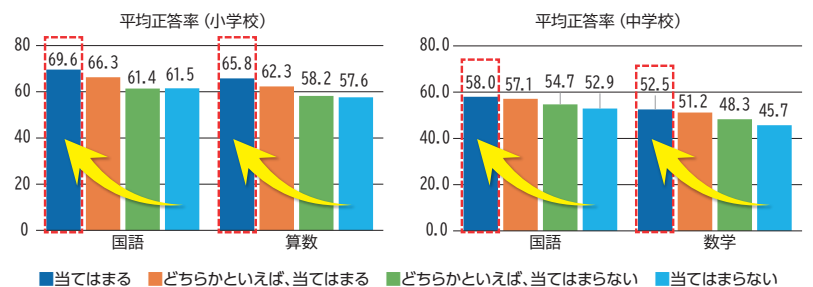


「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



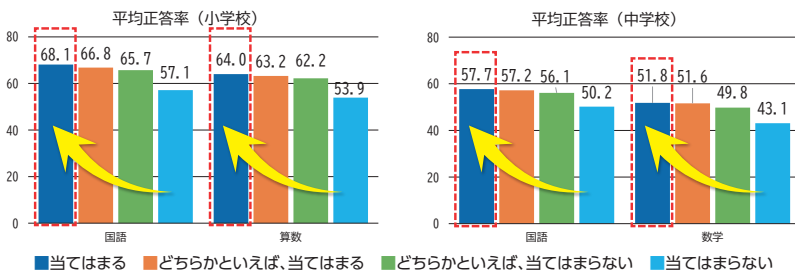
【自己有用感】×【各教科の正答率】

「先生は、よいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



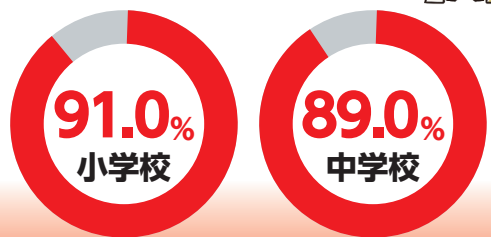
【幸福感】×【各教科の正答率】

「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」と回答した児童生徒は、教科に関する調査の平均正答率が高くなる傾向にあります。



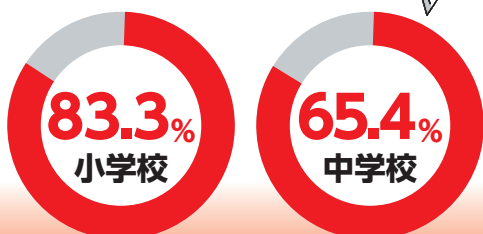
幸福感

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



夢・挑戦心

将来の夢や目標を持っていますか



【将来の夢・目標】(経年変化)

「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が、年々減少傾向にあります。

